

# 新年

## あいさつ



### これからの課題

関川村長 平田大六

あけましておめでとございます。  
皆さまにおかれましては、ご家庭で新しい  
年をむかえられたことと拝察いたします。

自立の関川村が六年目をむかえます。昨年  
四月に新しい村上市が発足し、圏域は一市二  
村という構成でスタートしました。

関川村は、ひきつづき地産地消ということ  
で、村の資源を有効に活用してゆきます。昨  
秋から、県の指導助成もあり「魅力あるむら  
づくり座談会」をつづけています。上関・下  
関地域の「まちなみ」を中心に、景観、歴史  
遺産、文化などを見なおそうというものです。  
地域以外からの参加者も多く、旧米沢街道と  
いう大資源に光をあて、村の活性化につなげ  
たいと思います。

関川小学校の建設は昨年末で一階床のコン  
クリート打を終えました。床面を高くとりま  
したので一九六七年（昭和四十二）の浸水レ  
ベルとほぼ同じ位になりました。閉校する各  
小学校の跡地利用や、その後のコミュニテイ

の「よりどころ（求心力）」を何に置きかえ  
てゆくかが課題です。地域と連携しながらソ  
フト面などを考えてゆくことにしています。

少子高齢の社会へと急変しています。安心  
して子育てできる環境、若者に歓迎される村  
に少しでも近づける努力を重ねていきます。

昨年も、えちごせきかわ大したもん蛇まつ  
りの応援に百五十一名という大勢の学生の  
方々がこられました。各集落の「地域の茶の  
間」にも出席されとけこんでくれました。元  
気な自立の村づくりを、学生の立場から応援  
し提案したいということで、大蛇まつり以外  
の時期にも幹部に来村してもらい、一歩踏み  
こんでいただくことにしています。

トキの飛来は全国にPRされ村を元気づけ  
てくれました。また、清流荒川が環境省の「平  
成の名水百選」にあがりました。すばらしい  
環境が「農」に結びつくことを期待します。

新しい年が、村民の皆さまにとりまして、  
良い年でありますことを祈念いたします。

# 謹 賀

## 年頭のご



農家民泊に

参加してください

関川村議会議長 近 良 平

明けましておめでとうございます。村民皆様には健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は新村上市が誕生しました。関川村としてはそれほど大きな変化はなかったように思います。交付税の減額が心配されますが想定されたほどの減額は行われていませんので、今のところは合併を急ぐ要素はないようです。

昨年紹介した「子ども農山漁村交流プロジェクト」もモデル事業が開始されました。平成二十二年度には本格的に運用されるのではないのでしょうか。関川村を含めた村上広域圏ではこの事業に対応できるよう準備を進めています。農家民泊を受け入れる際の注意点は普通に接する事です。食事などが一番の気がかりかも知れませんが、村上地域グリーンツーリズム協会で研修等を計画しています。認定農家はもとより小規模の農家にも参加して頂き、村が賑やかになるようご協力お願いします。

今年三月に行われます春の甲子園大会に新潟県から日本文理高校が、また二十一世紀枠として村上桜ヶ丘高校が推薦されました。どちらも決定ではありませんが、両校には関川中学校の出身の選手がいます。ぜひとも二校の出場を望むものであります。実現の折には関川村からも応援に行きましょう。

統合小学校の建設も二年目に入りいよいよ来年度には統合になります。小学校が閉校する学区では跡地利用の課題があります。近隣の町村を見ても跡地利用で成功している学校は極めて少ないようです。頑張っているところは地域ぐるみで取り組んでいるところだと思います。跡地に残すべき機能とし個人的に重要と思う事は、避難場所であること。地域コミュニティの拠点であることの二点では無いでしょうか。各地域で知恵を絞っていたきたいと思えます。村民皆様にとりましてより良い年になります事を心からお祈りし、新年の御挨拶いたします。